YOMIKO

2016年1月7日

NEWS RELEASE

男性シニアの4割は自宅で料理をする時代 料理をする男性シニアのアクティブなライフスタイルが明らかに

~読広生活者調査CANVASS シニア層分析レポートより~

シニア層分析レポート トピックス

- 料理をする男性シニアは、40%近くにのぼる
- 料理をする男性シニアは、日々の暮らしにおいて、自己実現や達成感を重視する傾向が高い
- 料理をする男性シニアは、食だけではなく様々な分野への興味関心が高い
- 料理をする男性シニアは、食関連商品に留まらず、衣類なども自身で選択して購入する機会が多い

<分析概要>

2025年には人口の約30%が65歳以上の社会になると言われる通り、加速度的に高齢化が進む日本において、シニア層に対応した生活環境づくりが求められています。株式会社読売広告社(本社:東京都港区代表取締役社長:中田安則)では、多様な価値観を持つシニア層の意識と行動を把握し、シニア層マーケティングに資するデータとして活用することを目的に、オリジナル生活者調査CANVASSを用いてシニア層の分析を行っています。

これまでのシニアというと、女性だけが料理をしているイメージがありましたが、近年では高齢化社会を見据えた生活自立の支援などの背景をもとに、男性の料理への関与も社会的に高まってきている風潮があります。 そこで今回は「男性シニアの料理への関わり」に注目し、料理への関与の違いで生活意識にどのような点で異なりがあるのかを調べました。その結果、「料理をしている男性シニア」には、食や料理だけに留まらない、様々な特徴があることがみえてきました。

<料理をする男性シニアはアクティブな生活を送る>

人生の考え方・生活価値観に関する設問についてみると、料理をしない男性は、身の丈にあった安定的な生活を望むような傾向がみられる一方、料理をする男性シニアは、自己実現や達成感を重視したり、人と積極的に関わりたいなど、より活動的な生活を送りたいという傾向あり。

料理をする 男性シニア



生活価値観・人生の考え方 自己実現. 達成感重視 将来への計画性 人並み・健康的 重視 0.10 な生活重視 0.00 0.10 品の良さ・ 安らぎ・身近な人 0.30 スマートさ重視 との生活重視 社会貢献・人との 身の丈わきまえた 繋がり重視 生活重視 欲張らず堅実・ 安定感重視 料理をする 料理をしない

料理をしない 男性シニア

※上図レーダーチャートについて

- ·分析対象者:配偶者のいる男性 60~74歳 N=191
- ・生活価値観及び人生に対する考え方に関する設問について主成分分析を行った。レーダーチャートは、主成分分析の結果として出力された変数を縮約し、各サンプルに算出した主成分得点の平均値を計算したもの。

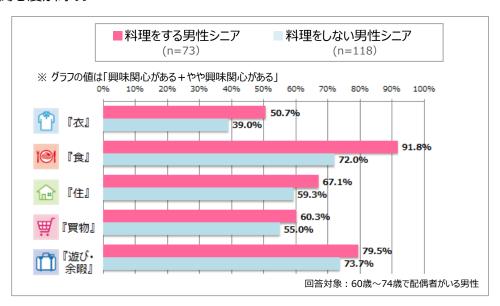
<料理をする男性シニアは40%近くにのぼる>

男性シニアは女性シニアに比べればその比率は低いものの、配偶者がいたとしても、料理をするという 人が40%近くにのぼる。週1日以上料理をしている男性シニアも20%を超えて存在する。



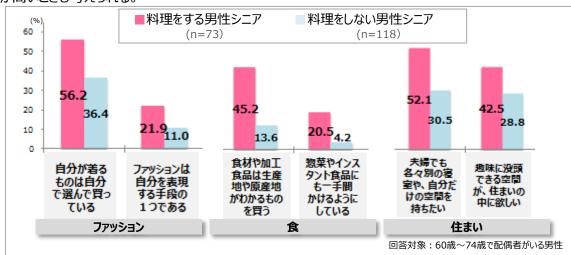
<料理をする男性シニアは、様々な分野に対する興味関心が高め>

料理をする男性シニアの特徴として、料理をしない男性に比べると、「食」に限らず、様々なジャンルで興味関心度が高め。



<料理をする男性シニアは、購買への関与が高い!?>

住まいへの意識にみられるように趣味性やこだわりのある男性が相対的に多いと推測される料理をする男性シニアは、食関連だけでなく、ファッションについても自身で選択して購入するなど、購買への関与が高いことも考えられる。



<シニア層分析を行ったベースデータ生活者調査『CANVASS』について>

読広生活者調査「CANVASS」最新刊書籍では、「料理をする男性シニア」に関する詳細データに加えて、CANVASS10年分のデータを用いたシニア層の意識変化についても掲載しています。

●読広生活者調査CANVASS 調査概要

-調査対象: 東京30km圏内、大阪20km圏内に居住する満13歳から74歳の一般男女

-総標本数: 1,800 (東京 1,125 大阪 675)

※うち60歳~74歳男女の標本数433

-標本抽出: エリアサンプリング法(町丁抽出⇒個人抽出)

-調査方法: 留置法(訪問U調査票配布⇒対象者記入⇒訪問回収)

-調査時期: 2014年9月

●調査内容

-生活全般 (満足感、幸福感、関心・こだわり度分野)

-生活意識・態度・商品の購入 (衣食住など17分野)

-メディア (メディア接触状況、広告イメージなど)

-好みや願望 (自信度、所有商品、自動車重視ポイント)

-フェイス (デモグラフィック、こづかい、所有車など)

■『読広生活者調査 CANVASS 2014』書籍の概要

『読広生活者調査 CANVASS 2014』 定価 20,000円(税込21,600円) 発行所 (株)読売広告社 東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル

●会社概要

株式会社読売広告社

■代表者名 : 代表取締役社長 中田安則

■設立: 1946年7月11日

■所在地:東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル

お問い合わせ先

■本リリースについて

総務部コーポレート広報グループ 乗杉

TEL: 03-5544-7104

■調査の詳細、生活者調査CANVASSについて

R&D局 ナレッジ研究ルーム 上野、西野、関、齋藤

TEL: 03-5544-7324